

5月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡となる。夏系品種の精の一世に切り替わり、入荷量は昨年並みからやや減少の見込み。
	黄・赤菊	沖縄、静岡産主体で、夏系品種の精の光彩に切り替わる。全体的に作付け量が減少し、少な目の入荷となる見込み。
小菊		沖縄、静岡産のみ。連休以降減少していく。中下旬は静岡産などが主体となる。
SP・ディスプレイバッド		<ul style="list-style-type: none"> ・SPマム: 愛知、静岡、栃木主体。昨年よりも若干少ない作付けとなっているが、生育は順調。 ・ディスプレイバッド: 愛知、静岡主体。やや多めの入荷になりそう。
バラ		各産地ともに例年並みで、入荷量は潤沢の見込み。
カーネーション		ST: 千葉、SP: 静岡中心。国産は昨年より全体量はやや減少。輸入品は横ばい～微増の見込み。
かすみ草		前半は例年並みの入荷。前進生育のため、後半にかけ数量が一気に少なくなる見込み。
リシアンサス		上旬は沖縄中心で、中旬から高知、関東の入荷増量が見込まれる。
ユリ	オリエンタル	埼玉、高知、千葉中心で、新潟のハウス物が増えてくる。数量は例年並み。 白: 色は6:4で、八重咲きの入荷もあり。生育状況はやや前進気味の産地あり。
	スカシ・鉄砲	<ul style="list-style-type: none"> ・スカシLAユリ: 埼玉中心で新潟も始まってくる。数量は例年並み。 ・Tユリ: 埼玉中心で数量はやや少な目の見込み。今後の天候によっては大きく前進、もしくは遅れとなる可能性あり。
洋ラン類		<ul style="list-style-type: none"> ・オンジューム: 国産、台湾産共に徐々に数量が増加。 ・カトレア: 数量は横ばい。 ・シンピジューム: 国産はシーズン終了に近づき数量減。 ・ファレノ: 輸入中心で数量は横ばい。 ・デンファレ: 国産は数量が少ない為、不定期な入荷となる。輸入はタイ産中心に数量減。
季節もの		<ul style="list-style-type: none"> ・グラジオラス: 茨城産が5月下旬から出荷スタート予定。輸入球根の到着が遅れ、出荷も若干遅れる見込み。 ・愛知の花菖蒲: 生育不良により遅れ、節句に間に合わず数量減。 ・スズラン: 低温続きで5日には数量を集めきれない状況。 ・ドウダン、ハゼ: 葉の展開が遅い状況で母の日後から徐々に増える。 ・葉物: 母の日用に輸入葉物市場から空注文をし、数量を確保。